

令和7年10月号



春日部セントノア病院

〒344-0001
埼玉県春日部市不動院野1112-1
TEL048-760-1200
FAX048-760-1201
<https://www.saintnoah-kasukabe.jp>



～目次～

- 病院短信
 - 日常の一コマ
 - いきいき看護・介護
 - 医事課だより
 - 誕生日会
 - スタッフ紹介
- 大西 景子
丸山 千忍
望月 紗貴
厚見 紗稚
デイルームにて
小沢 のり子

10月の予定

◇誕生日会

1病棟 10月 6日(月)
2病棟 10月 7日(火)
3病棟 10月10日(金)
各病棟デイルーム 14:00～



★秋祭り 11月1日(土)院庭にて

9月誕生会

大風船を
輪っかに通そう!



大きな風船って、なぜかワクワクしませんか？ポンッと空中に押して誰かにパスするだけでも自然と笑顔になってしあわせな気持ちになりますよね。 意外と大風船が世界平和のカギを握っているのかも…？



スタッフ紹介

3病棟介護員
おざわ
小沢 のり子

やってみたいこと：
ハンジージャンプ
行ってみたい国：
フィンランドでオーロラが見たい



推し活をしたり、韓国語を学んだり、野球観戦をしたり、のんびり旅行をしながら御朱印を集めたりして楽しく過ごしています。そんなたくさんある楽しみの中の一つに、古民家レストランやカフェを探して行くことがこの頃のマイブームです。とてもステキなので皆さんもぜひ行ってみてください。



病院短信

2病棟看護部長 大西 景子

今年の夏は例年にない厳しい暑さでしたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。ようやく朝夕には涼しい風が感じられ、少しずつですが秋の気配を楽しめる時期となりました。季節の変わり目でもありますので、体調に気を付けながらどうぞ無理せずお過ごしくださいね。

さて、秋といえば各地でお祭りが開かれる時期ですね。当院でも毎年恒例の「秋祭り」を予定しています。楽しくにぎやかな雰囲気と、懐かしさを感じていただけるように考えています。元気なスタッフの半被姿や、ご家族の方との屋台でのお買い物などです。「秋祭り」はただ楽しいだけではなく、患者さんの笑顔をいつも以上に引き出せる大切な時間だと思っています。それはご家族との時間は勿論ですが、

子供のころ、親に手を引かれてお祭りの屋台を巡った思い出。太鼓の音や笛の音。賑わう人々の笑い声や、屋台から漂う焼きそばや綿あめの美味しそうな匂いなど…。きっと皆様も思い出されるのではないのでしょうか。その様な五感に結び付いた記憶は年を重ねても心に残りやすく、懐かしい気持ちになりますよね。自然と笑顔になったり、ご家族との会話も弾んだりします。

当院の秋祭りを通して生まれる穏やかな時間は患者さんだけでなく、ご家族やスタッフにとっても心が温まる時間です。ご家族の方が傍にいて一緒に笑ったりお話ししたりすることで、患者さんの表情がいつそう柔らかくなります。その笑顔を見守りながらスタッフもそっと寄り添い、皆様が安心して楽しめる秋祭りになりたいと思っています。ご家族の皆様もぜひ一緒に懐かしい思い出を分かち合ってくださいね。



医事課 だより

医事課 厚見 紗稚

10月に入り、残暑が長引いているものの朝晩は涼しさを感じられる季節になりましたね。

気温差があるので風邪等ひかないようお気をつけ下さい。

さて、当院恒例の「秋祭り」は11月1日（土）に開催予定です。院庭にて焼きそば、たこ焼きなどの屋台、各病棟の出し物等が予定されています。患者さんとご家族のあふれる笑顔で思い出に残るひとときをお過ごしください。皆様の参加をお待ちしております。また、住所変更などで保険証が変更になられた場合は早めに病院窓口へ持参、またはご郵送をお願いします。

ご不明な点がありましたら、遠慮なく医事課までお問合せ下さい。



日常の一コマ

今月は2病棟の治子さん（86歳）をご紹介します。治子さんは福島県で6人兄弟の第4子として誕生されました。

中学校を卒業後上京し、浅草の菓子店で製造販売の仕事に就き、27歳で結婚されました。その後は春日部に転居し別の洋菓子店で長年勤務し、60歳の定年まで販売や接客指導の業務につき、日本中の店舗に出向いていました。

令和6年頃から物忘れが目立ち、物の片付けや置き場所を忘れてしまい、旦那さんのせいにして喧嘩になったり、一人で出かけて道が分からなくなり帰れなくなったこともあったそうです。

認知症の診断を受けた後は介護サービスのデイス



ービスやショートステイを利用しましたが、暴れて大声をあげるなど対応困難となり、別のショートステイに移っても攻撃的で暴言・暴力があり、ここでも対応困難となり自宅へ戻ったそうです。当院に入院される数日前から前日まで数回転倒されており、顔に大きな内出血がありました。

入院されてからの治子さんは帰宅願望があり、男性の入院患者さんを旦那さんと思い込み側に行ったり、夜間は寝起きを繰り返し、ベッドの上に立ち上がったりと、しばらくは落ちつきがありませんでした。普段も割と口数が少なく、表情も硬い治子さんですが、スタッフの声掛けに見せてくれる笑顔がかわいくとてもステキです。

これからもお元気で穏やかに、ステキな笑顔を見せて下さいね。

2病棟介護福祉士 丸山 千忍



いきいき看護・介護

2病棟看護師 望月 紗貴

10月に入り秋の気配が感じられる季節になりました。秋といえば「食欲の秋」です。

秋に食欲が増す理由として、次の2つが考えられます。1つ目は夏の暑さが和らぎ体がエネルギーを蓄えようとするため、自然と食欲が増す冬に備えた代謝の変化です。2つ目は私たちの脳は日光を浴びると「セロトニン」と呼ばれる物質を分泌します。セロトニンには食欲を抑える働きがあります。夏に比べて日照時間の短くなる秋はセロトニンの分泌が減少するため、食欲を抑える働きも弱くなり、食欲が増してしまいうためです。つまり、「食欲の秋」は単なる季節の風物詩ではなく、体のホルモンバランスや代謝の変化に根ざした自然な現象と言えます。

しかし食欲に任せて食べ過ぎてしまうと、体重増加や生活習慣病のリスクも高まります。そこで大切なのが「食欲コントロール」です。まずは腹八分目を意識し、よく噛んで食べる。旬の食材を取り入れつつ、野菜や発酵食品を中心にバランスの良い食事を心がけましょう。夜遅い時間の食事は控え、適度な運動も取り入れると、秋の味覚を楽しみながら健康も維持できます。秋は食の楽しみとともに、体と心を整える絶好の季節ですね。

